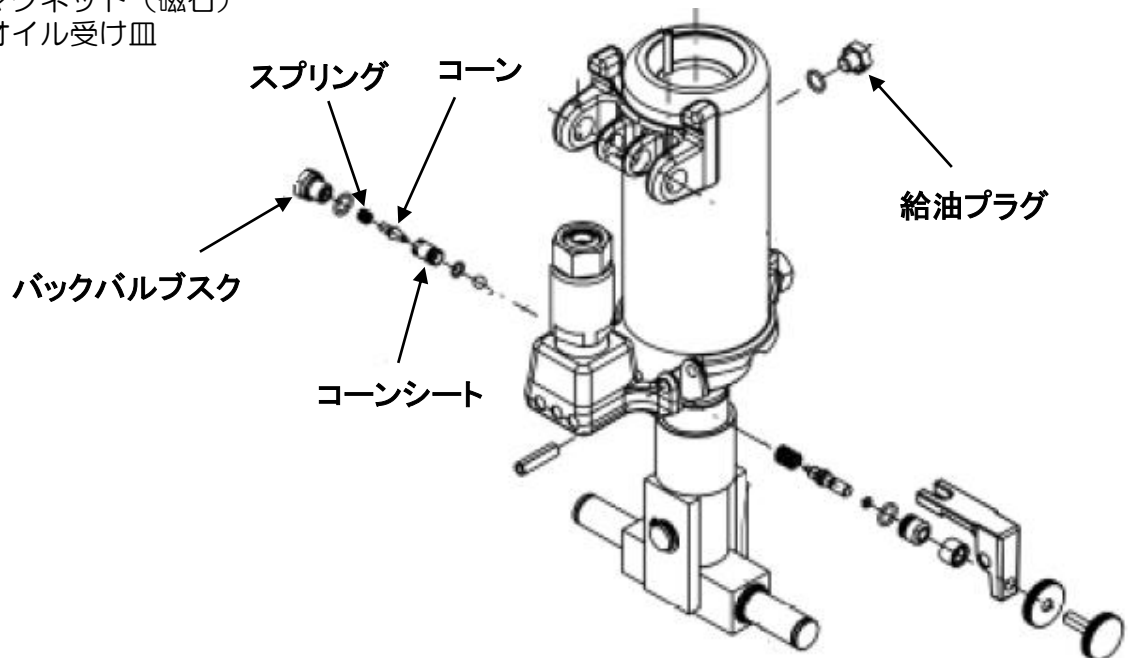


OBM4ton5tonシリーズオイル交換資料

⚠ 注 意

※ 作業の仕方によってはバルブ部の内部を傷つける可能性があります。
傷が付くと状態によってはジャッキユニットでの交換が必要となります。
その場合は、作業をされた方の責任となります。
作業経験が無い方、自信の無い方は上記内容をご理解いただき作業ください。

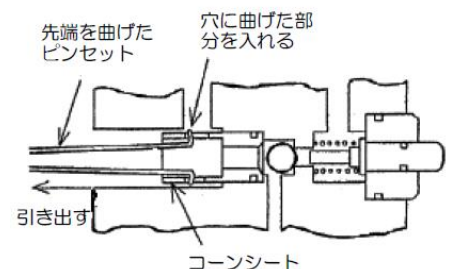
使用する工具… スパナ（17mm）
ピンセット（先端1～2mmを外側に曲げたもの）
マグネット（磁石）
オイル受け皿



作業手順

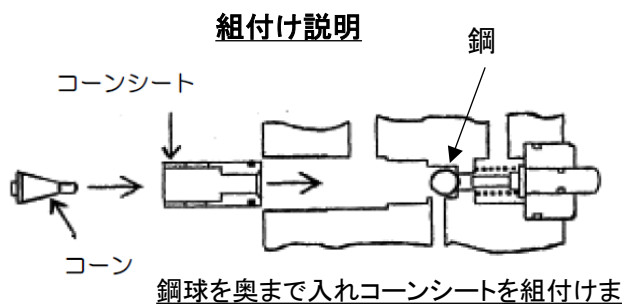
1. ハンドパレットトラックを平坦な場所に移動させます。
2. ハンドパレットトラックを最低位まで下降させます。
3. ポンプユニット側面にあるプラグ（給油プラグ）をスパナ（17mm）で外します。
4. バックバルブスクリューの下にオイル受け皿を置きます。
5. バックバルブスクリューをスパナ（17mm）で外します。
6. 本体ハンドルを1回ポンピングします。
7. オイルとともに、バルブスプリングとコーンが出てきます。出てこないときは、マグネットで取出します。
8. コーンシートを取外します。

コーンシート取外し説明



9. オイルが少しずつ出てきます。少し時間がかかりますが、オイル受け皿で受けてオイルが止まるのを待ちます。

10. コーンシート・コーンを組付けます。



※注意点
組付け時は、部品に付着したごみや異物を完全に拭き取り、内部に異物等が入ることの無いよう注意して作業してください。

11. スプリングを入れてからバックバルブスクリューを締めます。

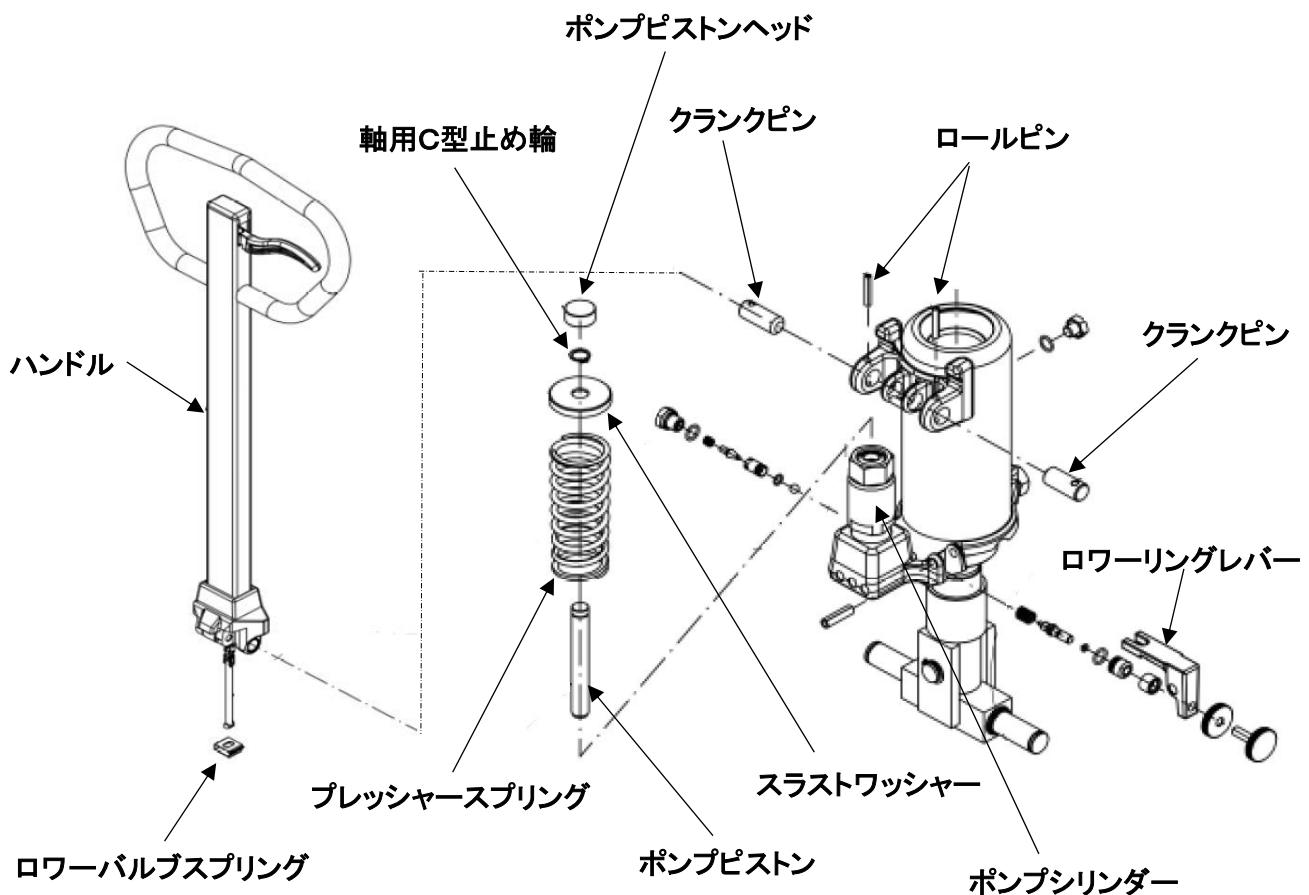
12. 給油口からオイルを穴いっぱいまでいれ、給油プラグを締めます。(約500cc)

油圧作動油の種類

粘度区分 ISO VG32 耐摩耗性油圧作動油

エアー抜き手順 (ハンドル操作を行っても上がりが悪い場合に実施ください)

使用する工具… ロールピン抜きφ5
スナップリングプライヤー (軸用)
ハンマー



13. ローバースプリングを取外します。
右写真の様に叩くと容易に外れます。
14. クランクピン固定しているロールピンを抜きます。
5mmロールピン抜き使用



15. クランクピンを抜いて、ハンドルを取外します。
右写真の様に叩くと容易に外れます。
16. ポンプピストンヘッドを取外します。

17. 軸用C型止め輪を取外します。
スナップリングプライヤー軸用を使用

18. スラストワッシャー、プレッシャースプリングを外します。

19. ポンプピストンを抜きます。



20. ポンプシリンダー内を作動油で満たします。

21. ポンプピストンを組付けます。
ローリングレバーを引き上げると容易に組付け出来ます。

22. 分解と逆の手順で組付けを行います。
スラストワッシャー、プレッシャースプリングを組付け、C型止め輪を組付けます。
ポンプピストンヘッドを取付け、ハンドル、クランクピンを組付けます。

※クランクピンの組付けは、ローリングレバーを引き上げポンプピストン高さ調整を行うと容易に組付け出来ます。